○議長（茅沼隆文）

再開いたします。

午前10時45分

○議長（茅沼隆文）

それでは、引き続き日程第3、議案第22号、平成24年度開成町下水道事業特別会計補正予算（第2号）を議題といたします。

予算書の説明を担当課長に求めます。

上下水道課長。

○上下水道課長（石塚和巳）

それでは、1ページをお開きください。

議案第22号、平成24年度開成町下水道事業特別会計補正予算（第2号）。

平成24年度開成町の下水道事業特別会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正。

第1条 既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ5,630万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ6億351万2,000円とする。第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

地方債補正。

第2条 地方自治法第230条第2項の規定による地方債の変更は、「第2表 地方債補正」による。

平成25年3月5日提出、開成町長、府川裕一。

今回の補正理由でございますが、歳入につきましては、南部地区土地区画整理区域内の進捗による工事量の減に伴う国庫補助金の社会資本整備総合交付金の減と町債の減額を行うものでございます。歳出につきましては、公共下水道事業費の委託料の入札差金による減額と移転交渉が困難な3カ所の工事量の減による工事請負費の減額、並びに歳入歳出を合わせるため予備費により補正を行うものでございます。

それでは、次の2ページをお願いいたします。

第1表、歳入歳出予算補正の歳入でございますが、3款国庫支出金の減、4款の繰入金と7款の町債の減により補正額5,630万円の減となります。歳出につきましては、1款総務費の減、2款事業費の減、3款流域下水道費の減、5款予備費の減で、補正額5,630万円の減となり、歳入歳出ともに合計額は6億351万2,000円でございます。

次の4ページをお願いいたします。

第2表、地方債補正でございます。起債の目的でございますが、公共下水道事業の減額と流域下水道事業の減額を行うものでございます。公共下水道事業の補正後の限度額は、補正前限度額の7,980万円から1,900万円減の6,080万

円でございます。流域下水道事業費の補正後の限度額は、補正前限度額の1,200万円から350万円減の850万円でございます。特別措置分につきましては、変更はございません。起債の方法、利率、償還の方法は、記載のとおりでございます。

10ページ、11ページをお願いいたします。

歳入でございます。3款国庫支出金、1項国庫補助金、1目下水道事業費国庫補助金、社会資本整備総合交付金減の1,380万円は、対象3路線の移転交渉がつかず工事量の減となったための減額でございます。

4款繰入金、1項他会計繰入金の1目一般会計繰入金減の2,000万円につきましては、歳出の減により減額補正をさせていただくものでございます。

7款町債、1項町債の1目下水道事業債は、公共下水道事業債減の1,900万円、流域下水道事業債減の350万円につきましては、工事請負費等の入札差金により減額補正をさせていただくものでございます。

次の12、13ページをお願いいたします。

歳出でございますが、1款総務費、1項下水道総務費、1目一般管理費の360万円の減につきましては、平成23年度の確定申告において繰り越し工事の影響により消費税が還付されたための減額、2款事業費、1項下水道事業費、1目公共下水道事業費につきましては、説明欄の実施設計委託料等の減550万1,000円につきましては入札差金によるものでございます。

国庫補助対象事業工事費の2,875万6,000円の減、町単独事業工事費の1,502万2,000円の減につきましては、3路線、228メートル減と入札差金による減額でございます。

3款流域下水道費、1項流域下水道費、1目流域下水道費は、流域下水道事業建設費負担金減の328万9,000円は、国庫補助金減による事業費の減と入札差金によるものでございます。

5款予備費、1項予備費、1目予備費、13万2,000円の減は、歳入歳出の調整によるものでございます。

次の14ページをお願いいたします。

地方債の前々年度末及び前年度末における現在高、並びに当該年度末における現在高の見込に関する調書でございます。区分欄の(1)公共下水道から(4)補償金免除繰上償還借換債まで記載のとおりでございます。当該年度末現在高見込の補正後の額は普通債総額で32億5,431万9,000円となります。

以上で説明を終わります。

○議長（茅沼隆文）

説明が終わりましたので、質疑に入ります。

質疑をどうぞ。

高橋久志君。

○2番（高橋久志）

2番、高橋です。

12、13ページ、下水道事業費の関係で質問させていただきます。

国庫補助対象事業工事費2,800万円余、それから町単独事業費の関係で1,500万円余。説明では3路線、228メートルができなかったと。この理由をもう少し詳細に聞かせていただきたいのと、今後、この3路線について、どう扱っていくのかなというのが非常に事業展開として気になりますので、お答え願いたい。

○議長（茅沼隆文）

まちづくり部長。

○まちづくり部長（石井 護）

3路線につきましては、先ほど一般会計のほうで町道249号線という部分がありましたけれども、ケースとしては同じでございます。予定しておいた工事箇所の中の3件の地権者の方と、移転補償ですとか、そういったところの話合いが年度内にうまくつかなかったということでございます。見通しにつきましては、そのうちの、もう既に2件については話合いがつくようだという事は組合のほうから聞いております。1件については、まだちょっと難しいところがあるのかなという、そういうところでございまして、その分、予定していた工事量ができなかったということでございます。

○議長（茅沼隆文）

ほかに質疑はありますか。

小林哲雄君。

○7番（小林哲雄）

7番、小林です。

1点、確認をさせていただきます。今の説明で下水道の場合は入札執行残を入札差金という表現をしているのですが、ほかでは入札執行残というのが一般的なのですが、その辺、差金と使っている理由があればお聞かせ願いたいし、同じ役場庁舎で使っている言葉なので、もし、できれば、支障がなければ統一したほうがよろしいのかなというふうに思いますが、その辺の見解をお伺いします。

○議長（茅沼隆文）

まちづくり部長。

○まちづくり部長（石井 護）

特段、言葉の決まりはないのかなと思います。わかりやすいのは執行残というほうが、補正ですので、いいのかなとは思いますが。入札差金というと最初の入札したときの差金という形になりますけれども、その後、変更契約があった場合ですとか、そうなったときには、予算の話ですから執行残というほうがわかりやすいのかと思いますので、その辺は検討しながら統一なりしていくようにしていきたいと思えます。

○議長（茅沼隆文）

小林哲雄君。

○7番（小林哲雄）

当然、条例等も言葉の言い回しすらきちんと統一されているので、こういう説明の際も、同じことを二つの言葉で使うのは誤解を生じるので、ぜひ統一していただきたいというふうに思います。

以上です。

○議長（茅沼隆文）

山田貴弘君。

○8番（山田貴弘）

8番、山田貴弘です。

ただいまのところと同じ場所の部分で質問します。この工事については、区画整理地内なのか、外なのか。事業の実施の中では関連性があるのかどうかはあれなのですけれども、そこら辺の場所の部分を報告をお願いします。

○議長（茅沼隆文）

上下水道課長。

○上下水道課長（石塚和巳）

それでは、山田議員のご質問にお答えしたいと思います。

これは、区画整理区域内でございます。1カ所は、富士フィルムの先進コア研究所北側の街区道路になります。それと、もう1カ所は、和田河原開成大井線の区画整理によって拡張する部分でございます。それと、もう1点は、開成南小学校の北側の部分に既存の住宅があると思うのですけれども、そちらのほうの移転がまだできていないということで、この部分が未着手になっております。いずれも区画整理の区域内でございます。

○議長（茅沼隆文）

ほかに質疑、よろしいですか。

（「なし」という者多数）

○議長（茅沼隆文）

それでは、お諮りします。質疑を打ち切り、討論を省略して採決することに、ご異議ございませんか。

（「異議なし」という者多数）

○議長（茅沼隆文）

ご異議なしと認め、採決いたします。

議案第22号、平成24年度開成町下水道事業特別会計補正予算（第2号）の原案に賛成の方の起立を求めます。

（起立全員）

○議長（茅沼隆文）

起立全員によって可決いたしました。